

CO₂削減の切り札 ; アンモニア燃料の展望と課題【Webセミナー】

日時 2021年6月16日(水) 13:00~16:30

主催 S&T出版株式会社

会場 【WEB限定セミナー】※在宅、会社にながらセミナーを受けられます。

受講料 42,000円 ⇒ KTR会員価格:1名33,000円, 2名39,600円, 3名49,500円

(税込) 非会員 ⇒ S&T出版Eメール案内を希望される方:1名37,400円, 2名42,000円, 3名55,000円

<Eメール案内登録価格はお申込時にEメール案内をご登録・登録済みの方に適用されます>

※2名、3名同時申込は同一法人内に限ります。

※2名、3名様ご参加は2名、3名様分の参加申込が必要です。

講師 秋鹿(あいか)研一 先生 / 沼津高専客員教授、熊本大学客員教授

東京工業大学名誉教授

(元)内閣府SIPエネルギーキャリアPG研究統括

1. 政府のエネルギー政策に於けるアンモニア燃料

昨年秋、菅政権は世界の動向に呼応すべく50年にはCO₂排出ゼロを目指すことを宣言した。さらに本年4月、日米交渉の後30年に(2013年比)46%削減を提唱した。この背景には、省エネ、石炭発電の撤退、国内再エネの増加などに加えて、海外からのCO₂フリー水素、特にアンモニアを重点技術として展開することを表明している。数値的根拠のない中、これを実現するための条件を著者なりに考察する。

現実に始まったアンモニア燃料利用とは科学的にどのような特徴があるかを解説し、その課題も示す。

2. アンモニア合成触媒の基礎と概要

世界、特にアジアでは化石資源に代えてCO₂フリーアンモニアを燃料とする動きが加速するであろう。世界各地で新しいアンモニアプラントが出来ればならずであり。そこでは新しい高効率触媒が利用されるであろう。ここではアンモニア合成触媒の作用原理を学び、多数発表されている新触媒を評価する力を付けることを目的とする。

アンモニア合成の反応機構、鉄とルテニウムの違い、促進剤とは何か、等を学ぶ。さらに、反応速度論の基礎を学び、これが装置設計や触媒設計と密接に関連していることを学ぶ。

3. グリーンアンモニア合成プロセスとしての評価

ブルーアンモニア、グリーンアンモニアとは何か? プロセス全体の概念を熱力学的見地から検討する。それを通じてカーボンフットプリント概念が得られることを学ぶ。最後に触媒のみでなく分離プロセスがいかに重要かを述べる。

セミナー申込用紙 ST210616(CO₂削減の切り札;アンモニア燃料の展望と課題)

KTR申込用紙

会社・団体名				TEL	
				FAX	
住所	〒				
① 氏名	部署・役職				
	E-mail				
② 氏名	部署・役職				
	E-mail				
<input type="checkbox"/> KTRコンサルテーション・サービス会員 <input type="checkbox"/> 非会員 ※会員もしくは非会員かを印をつけて下さい。					
S&T出版Eメール案内(無料)を		<input type="checkbox"/> 希望する・登録	受講料振込予定日	月	日
通信欄(3名以上のご参加はこちらにご記入ください)					

※左記ご記入の上、**FAX 06-6232-1056**までお申込みください。

■お申込み方法
セミナー申込書にご記入の上、FAXまたはE-mailでお申し込みください。
S&T出版から、聴講券、会場地図、請求書を送付いたします。
(E-mailでの申し込みはktr@kawasaki-tr.com)

■お支払
銀行振込にてお願いいたします。
受講料のご入金、開催日までお願いいたします。やむなく開催日以降にご入金の場合は、お申込みの際に振込予定日をご記入ください。
領収証の発行はいたしません。

■個人情報の取り扱い
ご記入の個人情報は、商品の発送、事務連絡、ご案内等に使用いたします。